


F J / F 4 関係者 各位

日本F 4 協会
 会長 鈴木 修二
 F J 協会
 会長 神谷誠二郎

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はF J 及びF 4 レースに対し、ご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、本年度のJ S Sスカラシップ (F J からF 4 へのスカラシップ奨学制度) ドライバー松本武士 (まつもと たけし) 選手のF 4 レース参戦のご報告をここにお送りします。

今後とも皆様のあたたかいご声援をお願い申し上げます。 敬具

J S S スカラシップドライバー	松本武士選手のF 4 レース参戦報告
J A F 地方選手権F 4 西日本シリーズ第3戦 大会名 鈴鹿クラブマンレース Rd3 期 日 2008年 6月 1日 開催場所 鈴鹿サーキット 参加台数 23台	

第3戦には22台が参加、人気が再燃するF 4 西日本シリーズ

F 4 西日本シリーズ第3戦は鈴鹿クラブマン耐久レースと併催の形で開催された。このところ、再び人気が高まりつつあるF 4 西日本シリーズだが、何と、今回は22台ものエントリーを集めた。

一方、F 4 デビュー後、連続してポール to ウィンを飾っている松本選手、果たして、この好調は続くのか、僅差で続く各ドライバーは、当然ながら追い落としを狙っての第3 戦目を迎えることとなった。

○ 練習走行

金曜から各車練習走行はスタートした。花岡選手、伊藤選手が調子良く2分07秒前半のタイムを刻んでいる。また、小林、増田選手も07秒台にタイムを入れている。松本選手はユーズドタイヤで車のセットアップに取り組んでいる。4本設定された練習走行で、最終セッションに松本選手はニュータイヤを履いて確認走行をすると、06秒28までタイムを詰め全体ベストを出す、小林選手が06秒7で続き、これまでのパターンを彷彿とさせるような練習走行となった。

○ 公式予選 5月31日 (土)

F 4 の前に行われたS - F J の予選ではウェットからドライ路面への変わり目となり、タイヤの選定が順位を分ける要因にもなったが、F 4 の予選時には路面状況はより好転し、全車迷うことなくスリックでコースインしていく。計測周に入ると、先ずは花岡選手がトップに立つ、いつものスタイルだ、伊藤、増田、広田、久保選手が続く。松本選手はコースインを遅らせ約1周遅れで走行するが、ペースも遅く時間をかけてタイヤを温めている。それまで2分06秒6までタイムを上げた花岡選手だったが、やがて伊藤選手が06秒2を出してトップに立ち、花岡、野尻、久保、増田選手の順となる。

すると、いきなり松本選手が05秒684を叩き出した、ブッチギリの好タイムだ。その後、各ドライバ

ーは松本選手のタイムを目標に果敢にアタックする。野中選手が06秒を切ってきた。野尻選手も06秒02と迫る。一方、松本選手は1周のみのアタックを終えるとタイヤを労り早々にピットに戻ってきた。残り2分、それまで5番手に居た小林選手が05秒713で松本選手の0.029秒落ちまで迫った。もうコンマ1秒も差が無い、まだアタックは続く・・・しかし、もうタイムが伸びることは無かった。フルコースを使用したレースながら、松本選手をトップに今回も1秒以内に8台、1.5秒以内には13台が入ってしまう大混戦となり、22台という台数と共に、緊迫感のある予選が展開された。

予選結果

Pos	No.	Name	Model	Car Name/Team	Time
1	22	松本 武士	WEST056	JSS・nutec☆プロバイル	2'05.684
2	11	小林 祐輔	WEST006	エーワン大井松田KL006	2'05.713
3	6	野中 哲也	SK97	F☆ノナカ	2'05.930
4	88	野尻 智紀	WEST006	オートボックス006サクシード	2'06.024
5	33	伊藤 善博	WEST006	bit-styie 制動屋006	2'06.136
6	37	小島 靖弘	SK97	F☆ルプテック ラムズ SK	2'06.329

○決勝レース 6月1日(日)

昨日から回復した天気は快晴で初夏の暑さが戻る。11時30分決勝レースはスタートを切った。

ポールの松本、2番手の小林選手共にクリーンスタート、しかし4番グリッドの野尻選手がストール！幸い、全車が上手くかわし衝突することなく1コーナーに向かった。松本選手が速い、2位の小林選手を離して戻ってくる。1周終了時点での順位は松本、小林、小島、花岡、野中選手。花岡選手が予選8位からジャンプアップして4位に、そして2周目には小島選手も下して3位にまで順位を上げる。

序盤の松本選手のペースは非常に速いが、しかし、ストレートスピードが伸びない、場内放送で8km/hの差があると言ひ、ストレートエンドではみるみる後続が近づく。そして3周目の1コーナーで手前で小林選手がインに並び、その真後ろに花岡選手がついて1コーナーに飛び込むと、松本選手は3位にまで順位を落とした。この後、松本選手の車は強いオーバーステアを誘発し始め、ストレートだけでなくコーナリングスピードも鈍り始めた。1、2位の小林、花岡選手は松本選手を引き離し、逆に、少し離れて4位を走る野中選手が松本選手を追う展開となる。5位以降は小島、上住、伊藤選手が続く。

中盤、松本選手にピタリと追いついた野中選手だがスプーンでコースオフを演じてしまうが、何とか順位を落とすことなくコースに復帰し、再び松本選手を追いかける。

終盤に入るとトップの小林選手に迫っていた花岡選手が徐々に間を開けられる。そして再び3位の松本選手に追いついた野中選手はストレートエンドで難なくオーバーテイク、3位に上がった。同様に5番争いでも小島選手を1コーナー手前で上住選手がついに下した。

残る2周、上位では順位の入替わりは無く、予選から続いた僅差の激しいタイム争いも、静かな閉幕を迎える形で各車チェッカーフラッグを受けた。

決勝結果

Pos	No.	Name	Model	Car Name/Team	Lap	Time
1	11	小林 祐輔	WEST006	エーワン大井松田KL006	10	21'23.411
2	26	花岡 翔太	WEST006	プラスK☆アキランド☆イーグル	10	21'24.336
3	6	野中 哲也	SK97	F☆ノナカ	10	21'31.524
4	22	松本 武士	WEST056	JSS・nutec☆プロバイル	10	21'33.261
5	36	上住 道人	WEST006	和歌山R・ファクトリー/テイク	10	21'38.785
6	37	小島 靖弘	SK97	F☆ルプテック ラムズ SK	10	21'40.305

以上